

BEING FREEDOM

代表者 末本篤典（教育B 2年）
構成員 古谷慶太郎（教育M 1年）大村美喜（教育M 1年）山田洸一郎（教育M 1年）
岡本知恵（教育B 4年）駒嵐佑香（教育B 4年）
網本翔太（教育B 3年）林夕貴（教育B 2年）
市原千絵（経済B 2年）児玉美緒（経済B 2年）
堺屋悠紀（教育B 2年）加藤寛子（教育B 2年）
浅田孝之（教育B 2年）馬場翔大（教育B 1年）
國井美沙（教育B 1年）白石藍（教育B 1年）
吉良英志郎（教育B 1年）田中孝行（外部参加者）

1. はじめに

私たち BEING FREEDOM は①不登校、発達障がい等の問題を抱える児童・生徒、②その保護者、③その兄弟・姉妹のリフレッシュの場であるイベント「フリーダム」を開催することを大きな目的として活動しています。そのために学内で「勉強会」を開催したり、サークル員が自主的にボランティア活動に参加したりもしています。私たちはただイベントを開催して支援をしているのではなく、イベントを開催するために不登校、発達障がいを抱える児童・生徒に対する対応の仕方も勉強しています。その上で、「フリーダム」がイベントに参加される家族の方々の不安解消、リフレッシュの場となればと思っています。

2. 活動内容

①勉強会

11月3日 NPO 団体 NEST の代表理事石川章先生をお招きしました。学内の学生・サークル員を含めて 20 数名が参加し、時間を大幅に超えての大盛況となりました。石川先生の講演内容は「不登校回復へのプロセス」でした。分かり易い例を挙げていただきながら、私たちに不登校の児童・生徒への接し方を丁寧に解説してくださいました。



勉強会での石川先生の講演の様子

②フリーダム

12月5日 第5回フリーダムを開催しました。保護者の方への講演会は、NPO 団体 NEST の代表理事石川章先生をお招きしました。午前中は講演会を開催し、午後からは石川先生を囲んで保護者の方々の質問や疑問に答えていただきました。保護者の方々の感想には「不安が解消できた」・「子どもとちゃんと向き合おうと思う」など前向きな意見が多数ありました。児童・生徒は、ペアになる学生との顔合わせから始まりました。午前中のレクリエーションでは、4組に分かれて、宝のありかを探す宝探しゲームをしました。午後からは、ペアの人と決めて自由に体育館や教育学部のちゃぶ台ルームで遊びました。ほとんど全員参加で行われたドッジボールや鬼ごっこは大白熱でした。児童・生徒の感想には「みんなで遊べて楽しかった」や「ご飯がおいしかった」など子どもらしい素直な感想が目立ちました。



午前中の宝探しの様子



午後の様子 トランプ・折り紙・人生ゲームなどをして遊びました

3月20日に第6回イベントフリーダムを開催しました。第6回は保護者の方々への形式を少し変えました。午前中の講演会では、第1回フリーダムから参加していただいている保護者の方にお話をさせていただきました。保護者の方目線の子どもの接し方や不安解消の仕方を話していただきました。午後からは、保護者の方同士で子どもへの接し方・気の抜き方など体験談を交えながら、座談会を開いていただきました。数名のサークル員も参加していたので今後のフリーダム改善に大いに役立ったのではないかと思います。児童・生徒は、学内探検を予定していたのですが、生憎の雨で中止となり、室内で折り紙・人生ゲーム・トランプ・オセロなどをして遊びました。午後からは自由に体育館で遊んだり、室内で午前中の続きをしたりと思いいに楽しみました。

3. 活動の月間内容

<10月～11月>

勉強会： 講演会にお招きする講師の決定・連絡
講演会会場の準備
配布資料・講演会開催ポスター・チラシの作製

フリーダム： 講演会にお招きする講師の決定・連絡
フリーダム開催に必要な会場の確認
フリーダム開催チラシの作製・配布（各学校・前回参加者への連絡）
児童・生徒の午前中のレクリエーションの決定
昼食の決定
フリーダム開催に必要なもののリスト作成

<11月3日>

勉強会開催（後日、勉強会のフィードバック、反省会）

<12月4日 - フリーダム前日 - >

最終ミーティング： 当日の必要物の確認・買出し
当日の役割分担の確認

<12月5日>

フリーダム開催（後日、反省会）

<1月～2月>

勉強会： 講師の先生が決定せず断念

フリーダム： 講演会にお招きする講師の決定・連絡
フリーダムの会場準備
フリーダム開催チラシの作製・配布（前回参加者のみ）
フリーダム開催に必要なもののリスト作成

<3月>

フリーダム： 児童・生徒の午前中のレクリエーションの決定・準備
昼食の準備

<3月19日 - フリーダム前日 - >

最終ミーティング： 当日の確認・買出し
役割分担の決定

<3月20日>

フリーダム開催（後日、反省会）

4. おもしろプロジェクト参加による活動の向上

おもしろプロジェクトに参加することによって私たち BEING FREEDOM の活動はより一層、質の高い・充実したものとさせることができました。

はじめに記したように、私たちの目的とするイベント「フリーダム」の開催には大掛かりなためサークル費だけでは賄えない部分がありました。しかし、おもしろプロジェクトに参加することにより、それも解消され、参加者の方々にさらに楽しんでいただけるイベントを開催することができました。保護者の方々には日ごろ、自分の子どもにつきっきりのところを1日でも離れることで、子どもたちへの愛情の再確認、また同じ悩みを抱える保護者の方と話すことによって自分はひとりではない、がんばろうという不安解消やリフレッシュの場として大いに活きていると思います。そのことは、毎回フリーダム後に書いてもらう感想からよくわかります。児童・生徒にとってもリフレッシュの場としてよく活用されていると思います。普段は保護者の方に怒られたり、腫れものように扱われたりする子ども学生と2人で話ができる環境においては普通の子どもとなら変わりありません。同年代の子と遊ぶ機会のない子たちもフリーダムを通して友達を作っています。いつもはめったに見せることのない笑顔もフリーダムでは全開です。さらに私たちにとってうれしいことは、フリーダムに参加した児童・生徒の中には、学校に行けるようになったり、フリースクールに通えるようになったりした子もいます。私たちは今後もそんな児童・生徒が増えていくような手助けをこのフリーダムを開催することによってしていきたいと思っています。

また、勉強会では、おもしろプロジェクト参加によって、より専門的で、現場で活躍していらっしゃる講師の先生をお招きして私たちの活動の幅を広げることもできました。専門的かつ現場で活躍されている講師の先生に講演会を開催していただくことによって、サークル員自身の知識も増えましたが、それ以上に、学びたいけど、学ぶ機会のない学内の学生へも不登校・発達障がい的重要性を訴えかけることができました。

5. 今後の活動内容・抱負

今後はフリーダムのより楽しめるように改善できればと思っています。これまで6回開催してきたため、残念なことにマンネリ化も目立ってきています。できれば第7回は今までとは違ったフリーダムが開催できたらと日々奮闘しています。しかし、児童・生徒・その保護者がリフレッシュでき、また来たいと思えるようなフリーダムを目標としていくことには変わりありません。勉強会に関してももっと多くの学生が参加してくれるよう、告知の仕方を変えていこうと思っています。昨年に引き続いての活動としてはフリーダムに参加されている方に配布するパンフレットも随時作製していこうと思っています。最後になりましたが、私たちの活動を支援してくださったおもしろプロジェクトにはとても感謝しています。来年度はさらなる飛躍を遂げた BEING FREEDOM にご期待ください。



第5回フリーダムでの集合写真